

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年1月6日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	フィリピン
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: フィリピン大学ディリマン校 現地言語: University of the Philippines Diliman
留学期間	2019年7月～2019年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年12月24日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月上旬～12月上旬 2学期:1月上旬～5月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約23000人
創立年	1908

留学費用項目	現地通貨 (フィリピンペソ)	円	備考
授業料	0	0円	大学間協定留学のため授業料免除
宿舍費	15000ペソ	31800円	3000ペソ/月
食費	38000ペソ	80500円	約7600ペソ/月
図書費	1000ペソ	2120円	
学用品費	500ペソ	1060円	
携帯・インターネット費	1500ペソ	3180円	299ペソ/月
現地交通費	6800ペソ	14400円	主にジブニーとGrab代( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	4700ペソ	9960円	
被服費	8000ペソ	17000円	
医療費	0	0円	大学のヘルスセンター(無料)を利用
保険費	24100ペソ	51000円	形態:海外旅行保険(大学で義務付けられているもの)
渡航旅費	47200ペソ	100000円	購入時期が悪く、高がついてしまったが、本来は50000円以下で抑えられるはず。
ビザ申請費	16400ペソ	34000円	(観光ビザの延長+学生ビザ)の料金
雑費	14600ペソ	31000円	
その他	35800ペソ	76000円	旅行費等
その他		円	
合計	約213300ペソ	約452000円	以上の費用はすべて概算であり、正確な値でないことを断っておく。

## 渡航関連

## 渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:ニノイアキノ国際空港 経由地:なし  
 復路 出発地:ニノイアキノ国際空港 目的地:成田空港 経由地:なし

## 渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:ANA  
 料金:100000 円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: \_\_\_\_\_ 料金: \_\_\_\_\_  
 復路 航空会社: \_\_\_\_\_ 料金: \_\_\_\_\_ ∴合計: \_\_\_\_\_

## 航空券購入方法

旅行代理店(店名: \_\_\_\_\_)  インターネット(サイト名:エアトリ)  その他( \_\_\_\_\_ )

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:アカシアドミトリー)  アパート  ホームステイ

2)部屋の形態

個室  相部屋(同居人数 3)

3)共有部分

バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4)住居を探した方法:

留学先大学の事務室による斡旋

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

環境は決してよいとは言えないが、そのうち慣れる。相部屋や冷水のシャワーが嫌だという方は寮に入居せず、初めから他の住居を探すことをお勧めする(一度入居してしまうと、無駄に寮費などを払うことになるため。)

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なし  
 あり(治療を受けた場所:大学内ヘルスセンター \_\_\_\_\_)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
 (例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なし  
 あり(問題の内容や相談した人等: \_\_\_\_\_)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

大学の事務室や周りの留学生、現地の学生から治安が悪いと何度も言い聞かされたため、人混みではリュックは前に背負う、ポケットにスマートフォンを入れないなど、基本的なことを心掛けた。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学構内には強力な Wi-Fi が飛んでいる。反対に大学の外では、近くに Wi-Fi スポットがほとんどないため、SIM カードを購入することがほぼ必須となる。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で口座にお金を入れておき、現地 ATM からクレジットカードを用いて引き出した。ただ、この方法は一回につき手数料が 250 ペソ(約 520 円)もかかってしまうので、計画的に行うのがよい。銀行口座も作れるとは聞いたが、実際に作っている留学生はほとんどいなかったと思う。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本語で書かれた本、辞書など。他のものは基本的に探せばなんでも揃う。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 8 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(自ら各学部の事務室に向いて登録) ・履修の制限はありましたか？ 科目番号が1から始まる科目のみ履修可能	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Philosophy 1 (Philosophical Analysis)	哲学1(哲学的分析)
科目設置学部・研究科	College of Social Science and Philosophy
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Earl Stanley B.Fronda
授業内容	哲学的分析となっているが、そのなかでも主に論理学的分析に力点を置き、真偽の区別や誤謬、論理式の問題を取り上げた。
試験・課題など	小テスト 3 回
感想を自由記入	授業は論理学の問題を実際に解く形式で、専門用語がたびたび登場し難しく感じられた。小テストは必死に勉強して取り組んだ。教授は優しく、わからないところを聞きに行くと親身になって応えてくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Philosophy 10 (Approach to Philosophy)	哲学10(哲学への接近)
科目設置学部・研究科	College of Social Science and Philosophy
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Jairus D. Espiritu
授業内容	アラン・バディウのエッセイを通して、さまざまな哲学的・形而上的問題に取り組む。
試験・課題など	レポート 4 回、グループプレゼン 1 回、期末テスト有
感想を自由記入	エッセイは非常に難解で、授業も難しかったが、それらをやりきったことやグループプレゼンの成功は大きな自信となった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Japan Studies 100	日本学 100
科目設置学部・研究科	Center for International Studies
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、実習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	週によって異なる
授業内容	日本の文化、社会のついて、多数の分野の教授による講義が行われる。
試験・課題など	レポート
感想を自由記入	自分の母国について他国の教授に教えてもらうというのは新鮮で、よい経験だった。日本がどのような世界的地位にあり、どのように見られているかを学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Filipino 3	フィリピン語 3
科目設置学部・研究科	Department of Filipino and Philippine Literature
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Schedar, Jocson
授業内容	タガログ語の基礎を学ぶ。留学生向けの授業。
試験・課題など	3 回のテスト(記述 2 回、口頭試験 1 回)
感想を自由記入	はじめのうちは英語や日本語とは全く異なる文法形式や単語に戸惑い、挫折しかけたが、続けていくうちに、その地に根差した言語を学ぶことの楽しさを覚えた。今後使うことはないかもしれないが、よい経験だったと思う。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職  進学  未定  その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	語学試験の勉強
4月～7月	語学試験の受験
8月～9月	
10月～12月	出願・選考
2019年 1月～3月	留学先の決定
4月～7月	滞在先決定・予防接種・航空券の購入・出発
8月～9月	ビザ取得(8月)・中間試験(9月終わりごろ～10月初め)
10月～12月	期末試験(11月終わりごろ～12月初め)・帰国
2020年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

**留学体験記(任意)**

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がフィリピン大学デイリマン校を選んだ理由は、ひとえに「過酷な環境で生活してみたい」という思いがあったからです。フィリピンは東南アジアでも治安の悪い国としても知られており、留学していた先輩の話聞く限りでも、「寮はゴキブリが大量に出る」とか、「シャワーは冷水しか出ない」といった話を耳にしていました。そのため、正直なところ、行く前は楽しみよりも怖さが勝っていました。しかし、いざ行ってみると、意外にもすぐに環境には慣れ、異国での生活が楽しくなりました。

大学ではたくさんの留学生や現地学生と知り合うことができました。インターンをしたり、専攻の勉強をしたりと、それぞれがそれぞれの道を歩む姿に私自身も非常に影響を受けました。私は出発前から卒業後の大学院進学を考えていたため、同様に進学を目指す留学生と勉強する機会が多くありました。お互いに拙い英語だったものの、彼らといろいろな話ができただけで非常に楽しく、よい経験になったと思います。

時折、「目的もないのに留学に行くな」という意見を目にしますが、私は「目的のない留学」もそれはそれでよいのではないかと思います(というか、私は目的なく行ったタイプです)。大切なのは留学先で「なにかをつかんで帰ろう」という姿勢であり、日本という守られた空間から出て、異邦人として世界を見るだけでも意味があるのではないかと考えます。私は留学の結果なにかを得られたのか、それに明確に答えることは難しいですが、なにかを得ようとして努力し、人間として少しは成長できたと実感しています。

これから留学に行く方は頑張ってください。陰ながら応援しています。

